

2014年8月26日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫
 (コード番号: 4578 東証一部)
 問合せ先 IR部 IR担当部長 小暮 雄二
 (TEL 03-6361-7411)

第2次中期経営計画の策定について

当社は、このたび2014年度を初年度とする今後5年間の第2次中期経営計画を策定いたしました。基本戦略は下記のとおりです。

記

当社は、‘Otsuka-people creating new products for better health worldwide’の企業理念のもと、独創的創造力による革新的製品、新カテゴリー市場の創生、グローバル事業展開により事業機会を拡大してまいりました。第2次中期経営計画（「本計画」）では、投資の継続と構造改革を基本方針とし、世界の人々の健康に貢献する企業を目指し、今後も事業機会の拡大を継続してまいります。

<第2次中期経営計画の位置づけ>

当社は、本計画期間を、抗精神病薬エビリファイの特許失効を乗り越え「収益構造の多様化を確立する5年間」と位置づけ、その主な施策として以下の3つの項目を掲げております。

- 医療関連事業におけるコア治療領域フランチャイズの強化
- ニュートラシューティカルズ^(*)関連事業の変革・構造改革と成長
- 積極的な成長投資と株主還元

(*) nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語

<第2次中期経営計画 経営目標>

単位 (億円)	2013A ¹⁾ 実績	2016E ¹⁾ 目標	2018E ¹⁾ 目標
売上高	14,528	11,900	14,400
研究開発費	2,490	1,700	1,700
営業利益	1,987	1,000	2,000
対売上高比 (%)	13.7	8.4	13.9
純利益	1,510	700	1,400
ROE (%)	10.8	4-5	8-10

注) 為替前提 1ドル=100円、1ユーロ=140円

外部成長は織り込んでいない

1) 2013Aは2013年4月-2014年3月実績、2016Eおよび2018Eは暦年（2014年度より12月決算に移行）目標

<第2次中期経営計画 骨子>

本計画においては、中長期的な成長に向けて重点的に取り組む事業分野を医療関連事業（治療薬事業、臨床栄養事業、医療機器事業）とニュートラシューティカルズ関連事業としています。

本計画における重点事業分野の戦略骨子は以下の通りです。

医療関連事業の戦略骨子

- コア領域フランチャイズの強化
 - 製品価値の最大化
 - コア領域(中枢・がん)への積極的な研究開発投資

ニュートラシューティカルズ関連事業の戦略骨子

- 成長を実現する変革・構造改革
 - バリューチェーンを支える経営資産の見直し
 - グローバル展開の加速
 - 収益性改善

<投資と株主還元方針>

本計画期間中における主な施策を着実に実行することにより得られた利益を株主の皆様へ還元するとともに、将来へ向けた成長投資（研究開発やアライアンス等の戦略的事業投資）をバランス良く行うことで、継続的な企業価値の増大に取り組みます。

<資料>

本計画説明資料は下記の当社ホームページに掲載しております。

<http://www.otsuka.com/jp/ir/library/presentation.html>

大塚グループは‘Otsuka-people creating new products for better health worldwide’の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

以上

見直しに関する注意事項

- 本資料には、当社及び当社のグループ会社（以下当社と併せて「当社グループ」という）の財務状況、経営成績、事業等に関する将来予想の記述が含まれております。かかる将来予想は、その性質上、発生の可能性が不確定な将来の事由や環境等に左右されることから、当該記述には、リスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の財務状況、経営成績、事業等が、かかる将来予想と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知願います。
- 新しい情報、将来の出来事又はその他の事由により、将来予想の記述に関し、更新又は修正が望ましい場合であっても当社は、それらを行う意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。